

より適切な災害対応を目指して

令和6年度湯沢砂防スペシャルエンジニア連絡会を開催

令和6年6月19日（水）に湯沢砂防スペシャルエンジニア連絡会を開催しました。湯沢砂防スペシャルエンジニア（通称YSSE）は、砂防技術に精通している技術者により構成され、事務所と連携して災害発生時に応急対応等の助言・支援活動の他に、地域での防災活動や防災教育の支援に協力していただいています。

今回は、高棚川砂防堰堤群（高棚川上流砂防堰堤、高棚川溪流保全工、北ノ入川第2号砂防堰堤）の事業箇所を視察し、その後事務所にてYSSE・事務所双方の今年度の活動予定や連絡事項について共有する会議を行いました。



高棚川上流砂防堰堤の視察



高棚川溪流保全工の視察



北ノ入川第2号砂防堰堤の視察

現地視察では、YSSEから施工方法や手順についての確認、各工事での懸念点についての意見交換が活発に行われました。



会議の様子

会議では、YSSEからは、設立の経緯や昨年の活動報告がされた後、今年度の活動予定について提案されました。事務所からは、事業計画や、事務所での取り組みについての報告の後、令和6年能登半島地震での北陸地整災害対策本部砂防調査班によるTEC-FORCE活動の活動報告がありました。また、災害が発生した時の緊急時の事務所とYSSEとの連絡体制について話し合われました。

本格的な梅雨期を迎え、雨量が増えると、土砂災害の危険も高まります。有事の際には、YSSEの方々と密に連携を取り、確実な災害対応を実施してまいります。